



<2学期中間テストのコメント>

国語	今回は、古典の「竹取物語」がテスト範囲でした。中学生のなつて初めての古典の教材でしたが、授業でやったことは、テストでもしっかりと出来ていた印象です。ただ、その反面「漢字」の問題に関しては、誤答や無答が目立ちました。今回、漢字で点数を落としてしまった人は、テスト前の漢字の勉強を見直して、期末テストに備えましょう。
社会	今回は「地理分野21点」「歴史分野74点」「時事問題5点」という配点になりました。「社会の自主学習」という問題集をしっかりと学習した人とそうでない人の差が出ていました。ノート提出に関しては、左側にプリントを右側にまとめや授業での話をうまく書いている人が、1学期より増えてきています。「地理」と「歴史」のノートは分けましょう。
理科	今回は平均点が前回のテストより高く、基本的な語句や基礎知識が身につけている人がたくさんいた印象です。しかしその反面、応用問題を苦手になっている人のおおさも感じました。今回のテストで出題はしなかったですが、「像」を作図する問題や、「凸レンズ」の問題を再度復習してほしいと思います。
数学	一次方程式の計算はよくできていた印象でした。一方、文章問題を解くことが苦手な人が多かったと感じました。次回のテストでは、「関数」の単元が入ってきます。一次方程式の文章題のように文章を読んで解く問題が多くなります。問題にも慣れるために、 <u>教科書や問題集、週末課題</u> を使って、何度も問題を解いておくようにしましょう。
英語	単語を書く問題は大変良くてできていました。一方、並び替えの問題や英作文の問題に課題があるように思います。今回の中間テストは、教科書から約30点分・E-PLUS(副教材)から約35点分・小テスト(単語・文法)と配布プリントから約20点分出題されています。期末テストでは、早めに準備を始め、教科書を暗唱するだけでなく本文を正しく書けるようにすることと、E-PLUSは何度も解くようにしましょう。

2学期になってから、だんだん学習内容が難しくなつてきています。まずは、毎日の授業をしっかりと取り組むことが大切です。みなさん一人ひとりが落ち着いて授業に取り組むことができるよう、これからも協力していきましょう。

各教科から中間テストのコメントをもらいました。ぜひ、次の期末テストやこれからの学習に生かしていきましょう。



★★★『多文化共生』の学習をすすめています！★★★

10月12日(水)、『多文化共生』の学習の1時間目として「ちがいのちがいの授業を行いました。授業では、下の12個の“ちがい”の内容について考えました。まずは各自でそれぞれが「あっていいちがい」「あってはいけないちがい」「どちらともいえない」のどれに当てはまるかを考えていきました。その後、班でそれぞれの人の意見を交流し、班の考えとしてまとめていきました。

次の①～⑫は「あっていいちがい」「あってはいけないちがい」「どちらともいえない」???

- ① Aさんはニンジンが嫌いだが、Bさんはなんでもよく食べる。
- ② 中学卒業後、Cさんはガソリンスタンドで働いているが、Dさんは高校へ進学した。
- ③ 食事の時に日本でははしを使うが、インドでは指を使う。
- ④ 日本に住む10歳のGさんは、毎日学校に行っているが、フィリピンに住む10歳のHさんは毎日路上で食べ物を売って家族のために働いている。
- ⑤ 日本では、医師一人当たりの人口は約386人だが、バングラデシュでは約1724人である。
- ⑥ 日本の国会議員は、圧倒的に男性が多く、女性は非常に少ない。
- ⑦ X町に住むSさんとは遊んでいたが、Y町に住むTさんとは遊ばないようにと家族に言われた。
- ⑧ 教室で学級だよりが配られると、Iさんは開いて読むが、先月海外から転入したJさんは、読まずにカバンに入れる。
- ⑨ 修学旅行でKさんは同じ部屋でみんな入浴したが、Lさんは入りたくない部屋に残った。
- ⑩ Mさんの家では、いつも父親が先に風呂に入るが、Nさんの家では決まっていない。
- ⑪ Oさんは好きな時に電車に乗るが、電動車いすを利用するPさんは、電車に乗ろうとしたら、駅員に「あらかじめいつ乗るか連絡してもらわないと困る」と注意された。
- ⑫ 親は、妹のQさんに食事の後片づけをするように言うが、兄のRさんには何も言わない

班の交流のときは、たくさん意見を交わし、考えをまとめることができました。後日、学習の続きを行いますので、あらためて各自の考えをまとめておいてほしいと思います。

